

定期作況報告

(平成26年10月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象は以下のように推移した。

- 9月下旬：平均最高気温が20.0℃(対平年比+1.4℃)、平均最低気温は10.1℃(+0.9℃)と平年よりやや高かったため、平均気温は15.0℃(+1.2℃)と平年よりやや高かった。降水量は42.0mm(160%)と平年より多かった。日照時間は62.1時間(111%)と平年並であった。畑地温は13.7℃(-0.4℃)と平年並であった。
- 10月上旬：平均最高気温は15.5℃(-1.6℃)、平均最低気温は5.7℃(-2.2℃)と平年より低かったため、平均気温は10.4℃(-2.6℃)と平年より低かった。降水量は12.0mm(53%)と平年より少なかった。日照時間は42.1時間(77%)と平年よりやや短かった。畑地温は9.5℃(-3.3℃)と平年より低かった。
- 10月中旬：平均最高気温が14.3℃(-0.3℃)と平年並であったが、平均最低気温が6.4℃(+0.8℃)と平年よりやや高かったため、平均気温は10.6℃(+1.0℃)と平年よりやや高かった。降水量は8.0mm(25%)と平年より少なかった。日照時間は46.7時間(108%)と平年並であった。畑地温は9.1℃(-2.1℃)と平年より低かった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は12.0℃(-0.1℃)と平年並であった。降水量の3旬の合計は62.0mm(77%)と平年よりやや少なかった。日照時間の3旬合計は150.9時間(98%)と平年並であった。畑地温は10.8℃(-1.9℃)と平年より低かった。

4月からの主気象要素の積算値は、いずれも平年並に推移している。

a. 気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	15.0	13.8	1.2	10.4	13.0	△ 2.6	10.6	9.6	1.0	12.0	12.1	△ 0.1
平均最高気温 (℃)	20.0	18.6	1.4	15.5	17.1	△ 1.6	14.3	14.6	△ 0.3	16.6	16.7	△ 0.1
平均最低気温 (℃)	10.1	9.2	0.9	5.7	7.9	△ 2.2	6.4	5.6	0.8	7.4	7.6	△ 0.2
降水量 (mm)	42.0	26.3	15.8	12.0	22.6	△ 10.6	8.0	31.5	△ 23.5	62.0	80.3	△ 18.3
降水日数 (日)	4	5	△ 1	4	4	0	4	6	△ 2	12	15	△ 3
日照時間 (hrs)	62.1	55.8	6.3	42.1	54.5	△ 12.4	46.7	43.1	3.6	150.9	153.4	△ 2.5
平均畑地温 (10cm, ℃)	13.7	14.1	△ 0.4	9.5	12.8	△ 3.3	9.1	11.2	△ 2.1	10.8	12.7	△ 1.9
最多風向	NNW			NW			SW					
平均風速 (m/s)	2.6			2.4			3.2					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値 (4月21日～10月20日)

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	2,747	495	980	2,398
平年	2,637	520	900	2,382
比較	110	△ 25	80	17

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：不良

事由：収穫期の草丈はほぼ平年並であったが、乾物収量の平年比は86%と低かった。生育期間中の気温がやや低く推移したことから、生育はやや停滞した。乾物率は平年より4.9%高かったが、これは生育の停滞及び10月上旬の少雨による影響と見られる。
以上より、目下の作況は不良である。
越冬前(10月20日)の草丈はほぼ平年並であった。

調査項目：

収穫期（月・日）			収穫期の草丈(cm)			10月20日の草丈(cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
10.9	10.9	0	45	48	△3	14	16	△2

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
573	850	△277	26.0	21.1	4.9	149	173	△24	86 %

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（6番草）

作況：不良

事由：草丈は平年並であったが、乾物収量の平年比は70%と低かった。10月上旬の気温が低く推移したことから、生育がやや停滞した。
以上より、目下の作況は不良である。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
29	29	0

生草収量 (kg/10a)			乾物率 (%)			乾物収量 (kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	平年比
408	578	△170	17.8	18.1	△0.3	73	104	△31	70 %

注) 平年値は前7か年のうち、平成20年(最豊年)及び平成25年(最凶年)を除いた5か年平均値。